

# 平成25年度 第7回 経営戦略会議 審議結果

日時：平成26年1月8日（水）8：45～9：45

場所：5階庁議室

【議題】 MICE 施設整備基本計画（素案）について

【提案局】 観光文化交流局（MICE 推進室）  
説明者：坂本観光文化交流局長

【出席者】 幸山市長、牧副市長、高田副市長、飯銅総務局長、原本企画振興局長、岡財政局長、石櫃環境局長、多野農水商工局長、永山都市建設局長、前渕中央区長

【付議内容】 MICE 施設整備基本計画（素案）を確定したい。

【資料】 ◇付議事項調書（様式1）  
◇熊本市 MICE 施設整備基本計画（素案）  
◇【資料1】熊本市 MICE 施設整備基本計画（素案）－概要版－  
◇【資料2】MICE 施設想定催事件数見込資料  
◇【資料3】MICE 施設整備費について  
◇政策調整会議内容検討表（様式4）

【審議結果】 ◆一部修正のうえ了承

【議事概要】 ◇熊本市 MICE 施設整備基本計画（素案）について、以下の点に対応の上、了承した。

- ・概算事業費の記載については、物価変動等による価格上昇が大きい場合、施設規模や仕様などの見直しを行う旨を追記すること。
- ・費用対効果については、利用料など収入を算定の際に考慮していない旨記載すること。
- ・本計画については、パブリックコメントやオープンハウス、都市計画手続きでの説明会など、様々な機会での市民への周知、啓発を図ること。

- 【審議の経過】◇資金計画の熟度向上や物価の上昇による価格上昇が想定される中で、財政面の観点から施設規模等の見直しによる事業費の抑制や、起債等の財源も踏まえた上で市がどこまで負担できるのかなどについて検討する必要がある。（岡財政局長）
- ⇒詳細な設計がなされていない中での概算であるため、今後とも事業費の抑制は検討していかなければならないが、具体的には、設計を進めていく中で整理を行う。また、市が負担できる範囲等についても関係局と協議・検討を行う。
- （坂本観光文化交流局長）
- ⇒価格上昇については、現実的に考えられるため、早急に対応を検討する必要がある。（永山都市建設局長）
- ⇒土地関係の価格で削減する余地はあるのか。（高田副市長）
- ⇒土地関係の価格については、交渉の余地はあるものの、適切に評価を行い積み上げているため、大幅な削減は見込めないのではないか。（永山都市建設局長）
- ⇒概算事業費の記載について、物価変動等による価格上昇が大きい場合の対応について記載を行うと同時に、施設プランを尊重しながらも、どこまで整理できるか、また、市で負担できる範囲等についても検討を急ぐこと。（幸山市長）
- ◇費用対効果について、利用料などの収入の影響が算定には含まれていないが、本来考慮すべきではないか。（岡財政局長）
- ⇒費用対効果については、特別委員会でも同様の指摘があり、現在、算定中のため計画には入れられていない。
- （坂本観光文化交流局長）
- ⇒利用料などの歳入を含んでいない旨記載すること。
- （幸山市長）
- ◇市民への説明について、パブリックコメント以外に説明会などを行うことは考えているのか。（前渚中央区長）
- ⇒パブリックコメントとあわせ、オープンハウスを行う予定。
- （坂本観光文化交流局長）
- ⇒都市計画手続きの中で、1月中旬に説明会を行う予定。
- （永山都市建設局長）
- ⇒MICEを含め、桜町・花畑地区全体について、オープンハウスや説明会など様々な機会を設けて市民の理解を得るよう にすること。（幸山市長）